



公立学校共済組合
東海中央病院
Tokai Central Hospital

東中

第2号 令和5年11月

だより

知って損はない 病院とお金の話し

東海中央病院
メディカルサポートセンター

病院において、患者さんやその家族が抱える、さまざまな問題の解決のために調整や援助を行います。

メディカルサポートセンターは、多職種がチームで「患者さんを中心に当院、クリニック・他施設をつなぐ部署」です。退院後の生活暮らしについて相談を受け、地域の福祉施設や介護サービス機関と連携し、患者さんが自分の病態に適したサービスを受けることができるように医療機関、介護施設をはじめ、行政や福祉にかかわる多くの機関とを繋ぐ役割を担っています。

患者さんご家族が、病院に入院中に、心配になる事は、退院についてと経済的な問題です。

①退院について

入院して無事に治療が終わって退院後、入院する前と同じ生活が出来るのか？は、大きな問題です。

公的：医療保険について

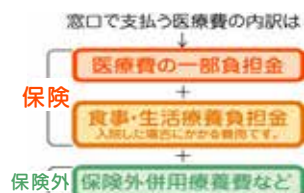
病院でかかった時に、支払う医療費の割合ですが、「年齢」と「その方の収入／前年度収入」で変わります。

70歳～75歳の方は、以前は1割だったんですが、それが2割、もしくは3割に変更になって、75歳以上の方も収入に応じて1割から3割負担に変更になりました。

	一般所得者等	一定以上現役並み所得者 所得者
75歳	1割負担	2割負担
70歳	2割負担	3割負担
義務教育終了後6歳	3割負担	
	2割負担	

じわじわと上げる計画を立てられています。出来るだけ病気になるように、健康でいたいものです。

医療費＜入院費＞について



保険外は、医療保険が適用されないものです。パジャマ代とか、オムツ代とか個室代。**紹介状がない患者さんの初診もそうです。**

かかりつけの先生からの紹介状がない場合、大病院は医療費に α でお金がかかります。**かかりつけの先生の紹介状、とても大切です。**

	(定額制) 令和4年9月30日まで	(定額制) 令和4年10月1日から
初診	5,500円(税込)	7,700円(税込)
再診	2,750円(税込)	3,300円(税込)

ご高齢の方が退院を進めていくなかで、電動ベッドやバリアフリーの設備設置など、ご本人やご家族からの相談をお受けして、介護保険でカバーできる事、家族でカバーする必要がある事を整理して、退院してからの生活を一緒に考えていきます。老老介護とか、認知症、独居の方もみえます。そういった相談が実際増えつつあります。

②経済的な問題

病院では、手術、薬、治療方法によっては高額になる事もあります。今の社会制度の中で、その方が利用できる制度、まだ気づいていない制度などはないか探して、その道筋を示すものです。

日本の社会制度の基本は、**申請主義**。
知ってるか、知らないかは大きな分かれ道です。

医療費が高額になったら、**高額療養費制度**を活用。

例) 100万円の医療費がかかった場合



入院が決まったら、

「限度額適用認定証」申請をお勧めします。

高額療養費制度というのは、最初に医療費を支払って、自分が決められてた一定額を超えた分が後からかえてくる制度のことです。

「限度額適用認定証」を入院が決まった時点で申請しておく、最初から請求の額が、上の表の限度額に抑えられるんです。支払う金額は結果的に同じなんです。最初から、安い計算が、一旦払って後から戻ってくるか。でも、出来れば最初から安い方が良いですね。